

製品名: BACE ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07417**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	BACE1 BACE1; BACE; KIAA1149; Beta-secretase 1; Aspartyl protease 2; ASP2; Asp 2; Beta-site amyloid precursor protein cleaving enzyme 1; Beta-site APP cleaving enzyme 1; Memapsin-2; Membrane-associated aspartic protease 2
別名	
遺伝子 ID	23621.0
SwissProt ID	P56817
免疫原	抗血清はヒト BACE 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 452-501

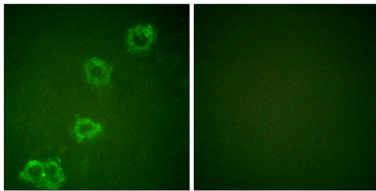
背景

βセクレターゼ1 (BACE1) ホモサピエンス この遺伝子は、アスパラギン酸プロテアーゼのペプチダーゼ A1 ファミリーのメンバーをコードする。選択的スプライシングにより複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つは、タンパク質分解によって成熟プロテアーゼが生成されるプレプロタンパク質をコードする。この膜貫通型プロテアーゼは、アミロイド前駆体タンパク質からアミロイド β ペプチドを形成する最初のステップを触媒する。アミロイド β ペプチドは、ヒトアルツハイマー病患者の脳に蓄積するアミロイド β プラークの主成分である。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]、触媒活性: 広範なエンドペプチダーゼ特異性。アルツハイマー病アミロイド前駆体タンパク質のスウェーデン型において、Glu-Val-Asn-Leu-|-Asp-Ala-Glu-Phe を切断する。、酵素制御: RTN3 および RTN4 によって阻害される。、機能: アミロイド前駆体タンパク質 (APP) のタンパク質分解プロセッシングを担う。APP の Aβ ペプチド配列の N 末端 (残基 671 と 672 の間) を切断し、β 切断された可溶性 APP と、その後 γ セクレターゼによって放出される細胞関連 C 末端断片の生成と細胞外への放出をもたらす。、類似性: ペプチダーゼ A1 ファミリーに属する。、サブユニット: モノマー。GGA1、GGA2、GGA3 と相互作用する。RTN3 および RTN4 と相互作用する。、組織特異性: 脳。、

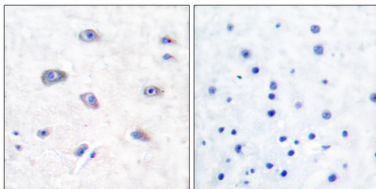
研究分野

アルツハイマー病;

画像データ



BACE 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



BACE 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。